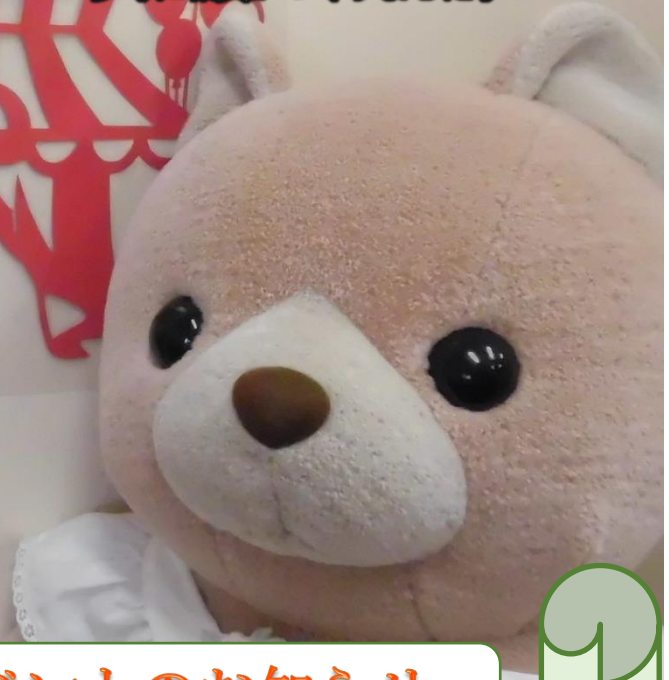
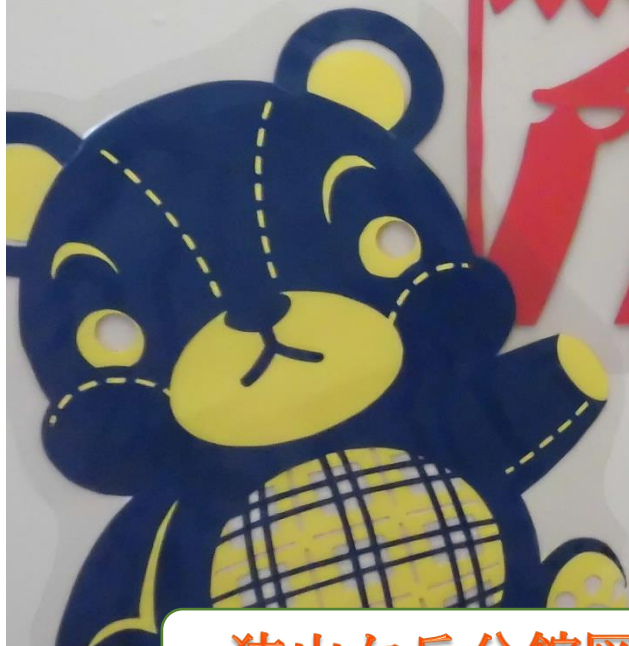


狭山ヶ丘分館 図書館だより

2022秋号

「サーカス」と「ぬいぐるみのクマ」の切り絵
は『祐琴のおしゃれかわいい重ね切り絵』を

参考に職員が作りました♪



狭山ヶ丘分館図書館イベントのお知らせ

秋の読書週間「読書ビンゴ」

10月1日（土）から11月11日（金）まで

色々な分類の本を借りて頂き、ビンゴになると、素敵なプレゼントがもらえます。問題用紙は「やさしい」と「むずかしい」の2種類があります。ぜひチャレンジしてみてくださいね！
※毎回好評をいただいている職員手作りのガチャガチャを用意してお待ちしています。

「リサイクル市」

■11月12日（土）・13日（日）※終日 ■場所：狭山ヶ丘分館入口付近のエレベーターホール
図書館で不要になった図書や雑誌などリサイクル資料をご用意します。ご自由にお持ち帰り下さい。

図書館まつり「本の福袋」

■11月12日（土）・13日（日）※終日 ■場所：狭山ヶ丘分館カウンター
狭山ヶ丘分館の職員が考えたテーマにそった本を3冊選んで福袋を作ります。どんな本が入っているかは借りて袋を開けてからのお楽しみです。「一般書」「児童書」の2種類を数量限定でご用意します。

こんなことしました。

令和4年夏(7~9月)

「こわいおはなし会」

開催：7月23日(土) 参加者：子ども9名・大人5名

コロナウィルス感染症の影響で、去年は実施できなかったため、2年ぶりのこわいおはなし会でした。

こわい素話や、かわいいおばけちょうちんがでてくる紙芝居、真っ暗ななかで光って見えるブラックパネルシアター、おばけが歌詞に出てくる手遊び歌、おばけが活躍する大型絵本などおばけがでてくるプログラムで行いました。最後は皆で楽しくおりのおばけおまもりをつくりました。



「図書館男子のおはなし会」

開催：7月30日(土) 参加者：子ども5名・大人1名

夏休み期間中のイベントとして今年度2回目の図書館男子のおはなし会を開催しました。参加者は小学低学年の方が中心となり、終始アットホームな雰囲気の中、絵本を楽しそうに聞いてくれていたのが印象的でした。

工作では、ストローを上下に動かすとケロケロ鳴き声ができるカエルをみんなで作りました。

完成したオリジナルのカエルは持ち帰りいただいて夏休みの楽しい思い出ができました！



「にっぽんのおかず展」

開催：7月28日(木)～8月30日(火)

参加者：子ども226名・大人178名



狭山ヶ丘分館エレベーターホール前で「にっぽんのおかず展」を開催しました。各都道府県を代表する郷土料理(おかず)のパネルを展示し、利用者の皆様に1つ選んで投票していただくイベントでしたが、皆様のふるさとの味はありましたか？

地域の名物や生活の知恵が合わさった珍しいおかずの数々に興味を持ってくださった方も多く、児童・一般合わせて404名の方が投票してくださいました。パネルの前で親子並んで「こんな料理もあるんだね」と話を弾ませている姿が印象的でした。

参加してくださった皆様、ありがとうございました。

「図書館実習」

実施日：8月4日（木） 参加者：図書館実習生2名



図書館で実習生の受け入れと実際の業務を体験してもらいました。図書館での仕事は、カウンター業務だけではなく、予約本の確保や本の修理、工作会の準備など多岐に渡ります。

今回の実習体験を通して図書館の仕事の裏側まで深く知ることができたので、今後の進路を考える上で貴重な経験になったのではないかと思います。

「夏休み工作会」

開催：8月20日（土） 参加者：子ども8名・大人4名

2年ぶりの開催となった夏休み工作会では、「カラフルスライムであそぼう!」と題して基本のスライムとふわふわスライムの2種類のスライムを作りました。絵の具で色を付けた洗濯のり液に、ほう砂の飽和水溶液を入れかき混ぜていくと、どんどん重く固まっていく様子やシェービングクリームを入れた時には、子どもたちから歓声が上がりととても盛り上がりました。スライムで遊ぶ時間では、自分好みの硬さにする事に熱中する子が多く、兄妹や親子で話し合いながら調整していました。久々の開催でしたが、工作会を待ち望んでくれた方が多く、賑やかなイベントになりました。



「ブックトークに行ってきました」

開催：9月6日（火）北中小学校 9月13日（火）三ヶ島小学校



残暑も和らぎ、秋の気配を感じながら2つの小学校のブックトークに行ってきました。ブックトークとは、1つのテーマに沿った複数の本を紹介していくというものです。所沢図書館では、小学校3年生の全学級を対象に図書館職員が小学校を訪問しております。狭山ヶ丘分館の今年度のテーマは「チェンジ!」です。金貨やランプに変身するお化けのお話など、全部で5冊紹介しました。今年度は狭山ヶ丘分館が担当する5つの小学校でブックトークを行うことができたので、とても嬉しかったです。

★ブックトークで紹介した本★

- ① 「いたずらおばけ」 <M> 『世界のむかしばなし』より 瀬田貞二/訳 太田大八/絵 のら書店
- ② 『どうぶつのあしがたずかん』 <48> 加藤由子/文 ヒサクニヒコ/絵 他 岩崎書店
- ③ 『パンのかけらとちいさなあくま』 <M> 内田莉莎子/再話 堀内誠一/画 福音館書店
- ④ 『牛乳パックであそぼう』 <75> 猶原通正/著 井出圭祐/イラスト 草土文化
- ⑤ 『ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ』 <Fキ> ディック・キング=スミス/作 三原泉/絵 あすなろ書房



図書館スタッフの オススメ本

智恵子飛ぶ



津村節子／著

講談社

請求記号：913.6/ツ

皆さん、高村智恵子といえばどんな人物を思い浮かべるでしょうか。詩人・高村光太郎の最愛の妻、精神を病んで結核で世を去った悲劇のヒロイン——そんなイメージがあるかもしれません。『智恵子飛ぶ』は、そんな彼女の実像に迫った小説です。智恵子が日本女子大学校で平塚雷鳥らと過ごした青春の日々、夫となる光太郎との出会いから結婚に至る過程などが生き生きと描かれています。そこにはただの悲劇のヒロインではなく、ひとりの人間としての彼女の姿があります。例えば、無口でありながら自転車やテニスなどスポーツが得意な智恵子。友人と干し柿を分け合う智恵子。着物の帯に油絵の具で百合を描いてお洒落を楽しむ智恵子。私たちと変わらない、ごく普通の人間だった彼女がなぜあのような結末を迎えてしまったのか。秋の夜長、深い描写が心に染み渡るこの一冊をぜひ手に取っていただきたいです。

純喫茶パオーン



椰月美智子／著

角川春樹事務所

請求記号：913.6/ヤ

創業約50年の「純喫茶パオーン」。その店主の孫である「ぼく」が、小学5年・中学1年・大学1年の頃にそれぞれ出会った不思議な事件と温かな日常を描いた作品です。「純喫茶パオーン」の店主のおじいちゃん・おばあちゃんや「ぼく」の幼馴染、気になる女の子や先輩など出てくるキャラクターが個性豊かです。店主のおじいちゃんの方言(?)は面白いし、「ぼく」やおばあちゃんとの掛け合いも仲が良いんだなと感じました。中学1年生・大学1年生では、幼馴染との関係性や気になる女の子との関係、ゆりちゃんの恋愛模様などの青春話です。全編通して物語に登場するミルクセーキやナポリタンなど定番のメニューですが、「ぼく」が世界一!!と何度も言っていたので、食べてみたい!!と思わせてくれます。「純喫茶パオーン」を中心に、「ぼく」や周りの人たちの成長を感じられる物語。事件が起きて、最後にはみんな笑って終われるハートフルな登場人物ばかりなので、気になった方はぜひ読んでみて下さい。

「視聴覚資料の貸出・予約点数が変わりました！」

9月1日(木)より、CDとDVDの貸出・予約枠が別々になりました。

CDは1人3点、DVDは1人2点までとなります。

(予約：CD1人3点、DVD1人2点まで) 貸出期間は従来と同じ2週間です。

どうぞご利用ください!

狭山ヶ丘分館マスコットキャラクターくまのさあやちゃん

